

家畜衛生だより

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
Tel 023-686-4410
Fax 023-686-5715

令和5年7月 発行

夏季休暇期間中の

アフリカ豚熱・口蹄疫等の防疫対策徹底を！

アフリカ豚熱(ASF)は、本年2月にシンガポールで初めて発生、口蹄疫(FMD)は本年5月に韓国で4年ぶりの発生が確認される等、日本と交易が盛んな、アジア各地で発生が続いており、日本への侵入リスクが依然として高い状況です。

昨年10月の入国制限撤廃以降、訪日外客数はコロナ禍前の7割程度まで回復しているところです。これから夏季休暇期間を迎えるに当たり、ASFやFMD等の発生地域からの人・モノの移動が増加することが予想されます。

引き続き、家畜伝染病の病原体の侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

1 畜産関係者の海外渡航の自粛！

ASF・FMD等の発生地域への不要不急の渡航を自粛しましょう

2 消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止の再徹底を！

- ①関係のない者を衛生管理区域・畜舎に立ち入らせない
- ②手指の消毒や専用長靴の着用等、必要な対策を行う
- ③野生動物の侵入防止対策（適切な防護柵、防鳥ネット等）
⇒「飼養衛生管理基準を再確認しましょう！」

3 毎日の健康観察、異状の早期発見および早期通報を！

飼養家畜の毎日の健康観察をしっかりと行いましょう



疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

～豚の症状～



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変を確認

豚熱

2018年9月、11月、12月、2019年1月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

アフリカ豚熱

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、
急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけたら、速やかに家畜保健衛生所に連絡を！

中央家畜保健衛生所 023-686-4410（休日・夜間共通）